

法人（事業所）理念		○「できることを増やし 生きる力を育む」をスローガンに掲げ、様々な特性を持つ子どもたちが、自身の得意とする能力は伸ばし、不得手なことには助力を求められる力を身につけ、主体的に生きていける自立のための土台づくりを目指します。 ○学校や関係機関、保護者様との連携・協働に力を入れていきます。 ○ひだまりを保護者様同士のコミュニケーションの場として提供し、交流を通して共に学びあい、皆様の心配や不安を解消し、お子様の健やかな成長を支えていきます。		
支援方針		○日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適應できるよう育てます。 ○将来の就労時を見据えて円滑な移行ができるよう、利用者の特性と置かれた環境に応じた適切な支援を行います。 ○笑顔とあいさつ、言葉使いを大切にし、良好な友だち関係が築けるようにします。 ○表現、思考、集中力、自己コントロール力を身に付け、できることを増やすための支援を行います。		
営業時間		9 時 00 分から 18 時 00 分まで	送迎の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・検温（登所時）、手洗いなど日常の健康チェックや病気予防を徹底し、健康な身体づくりに努めます。 ・年齢が上がると心身ともに変化が起きます。日々の職員との関わりを通して、自分の気持ちを知り（怒り、悲しみ、楽しさ、嬉しさ）、感情を客観視してコントロールできるようにします。 ・身の回りを整えたり、身辺自立ができるよう支援します。		
	運動・感覚	・正しい姿勢で学習に取り組めるようにしていきます。 ・身体能力の向上や運動機能の発達を促し、日常生活に必要な動作の基本を身に付けます。 ・折り紙、ハサミ、ブロック、粘土などで指先の動きをコントロールする力をつけ、作り上げる喜びや達成感が味わえるよう支援します。		
	認知・行動	・集団での活動の中で、話を聞く、苦手な事にも挑戦するなど課題に積極的に向かい、達成感を感じられるような支援をしていきます。 ・小集団での活動や、遊びの中で適切な行動を習得する。 ・毎日の生活の中で時間やルールを意識させ、達成出来たことを褒めて、自己肯定感を育てます。 ・必要に応じて、個々の感覚特性に応じた環境を設定します。		
	言語 コミュニケーション	・集団遊びの中で良好な仲間づくりができるよう、譲り合う姿勢や断り方などのやりとりがスムーズにできるように支援していきます。 ・あいさつや場面に会った言葉遣いができ、人とのコミュニケーションが取れるように支援していきます。 ・自分の言葉でしたいことを伝え、手伝ってほしい時に援助を求めるなど、必要な行動を適切に発揮できるように支援します。		
	人間関係 社会性	・友達や職員との関わりを通して、人間関係の構築を図れるよう支援します。 ・あいさつ、ルール、マナーなど社会性を身に付けるよう、日々の活動の中で声掛けを行い支援をしていきます。 ・集団活動や創作活動を通して、友達との上手なやり取りを覚えるとともにチームワークや協調性を身に付けるよう支援します。 ・社会体験や地域行事等へ参加し、社会へのつながりと社会貢献の意識を育みます。		
家族支援		・保護者連絡会や保護者面談を通じて、ご家族の困りを聞き相談支援の場を作ります。必要に応じて関係機関と連携します。 ・送迎時やLINE、サービス提供記録等を用いて情報共有を行います。	移行支援	・必要に応じて、学校でのお子さんの様子を見学したり、学校の先生とお子さんとの支援方法について、情報共有します。 ・具体的な移行先との調整、相談援助、連携を行います。
地域支援・地域連携		・地域の公園や図書館、公民館など地域の公共施設を利用するなど、地域資源を活用します。 ・相談支援事業所や他の福祉サービス機関等との連携を図り、情報共有していきます。	職員の質の向上	・毎日の職員朝礼、定期的な職員会議、療育会議、各部門会議を実施し、支援方法に関する情報共有をします。 ・児童発達支援管理者研修 ・職員の資格取得
主な行事		季節行事（夏祭り・ハローウィン、クリスマス会、餅つきなど）、お誕生日会、保護者会、保護者個別面談、避難訓練、学休日の公共施設や映画館などへのお出かけ、社会体験活動（買い物体験など）、季節の収穫体験（芋掘り、ミカン狩り など）		